

獣医学科の主なカリキュラム

全体構成

- 教養教育科目 / 外国語教育科目
- 学部共通導入科目
- 基礎科目

- 獣医系科目(コア)
 - ・ 基礎獣医系
 - ・ 公衆衛生系
 - ・ 臨床系
 - ・ 応用生物系
 - ・ 畜水産系

- 獣医系科目(アドバンスト)
- 総合科目

1年	2年	3年	4年	5年	6年
基礎科目・専門コア科目					
教養教育科目/外国語教育科目		応用生物系科目		アドバンスト科目	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 外国語教育科目 ○ 初年次教育科目 ○ 人間・社会科学教育科目 ○ キャリア教育科目 ○ 科学技術教育科目 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 獣医微生物学 ○ 獣医毒性学 ○ 動物実験学 ○ 獣医病理学総論 ○ 獣医病理学各論 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 比較動物機能科学 ○ 修復・再生医療科学 ○ 国際ライフサイエンス産業政策論 	
学部共通導入科目		基礎獣医系科目		ライフサイエンス科目	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 動物関連キャリア概論 ○ 生命倫理学 ○ 人間・動物関係学 ○ 獣医事法規 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 獣医生化学 ○ 獣医生理学 ○ 獣医形態機能学I ○ 獣医形態機能学II ○ 獣医薬理学総論 ○ 獣医薬理学各論 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 分子細胞腫瘍学 ○ 発生工学 ○ 獣医病態モデル学 ○ 創薬科学 ○ トランスレーショナルリサーチ 	
基礎科目		臨床系科目		国際獣医事科目	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 生命科学 ○ 獣医分子生物学 ○ 化学 ○ 生物物理学 ○ 放射線生物学 ○ 情報リテラシー ○ 生物統計 ○ 動物福祉論 ○ 科学倫理学 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 栄養学 ○ 獣医臨床薬理学 ○ 獣医臨床栄養学 ○ 獣医内科学総論 ○ 獣医臨床病理学 ○ 獣医呼吸・循環器病学 ○ 獣医消化器病学 ○ 獣医泌尿生殖器病学 ○ 獣医内分泌代謝学 ○ 獣医神経病学 ○ 獣医血液・免疫病学 ○ 獣医皮膚病学 ○ 獣医眼科学 ○ 動物行動治療学 ○ 獣医外科学総論 ○ 獣医手術学総論 ○ 獣医麻酔科学 ○ 獣医軟部組織外科学 ○ 獣医運動器病学 ○ 獣医臨床腫瘍学 ○ 獣医画像診断学 ○ 産業動物臨床学 ○ 馬臨床学 ○ 獣医臨床繁殖学 ○ 総合獣医学演習I、II 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 国際獣医事概論 ○ 国際動物関連法規 ○ レギュトリー科学 ○ 国際動物疾病学 ○ 国際野生動物管理学 ○ 産業動物疾病予防管理学 ○ 産業動物疾病診断病理学 ○ セキュリティ学 ○ グローバル食品管理科学 ○ 医薬品・食品安全性評価演習 ○ 国際獣医法医学 ○ 動物危機管理学 ○ 国際生物資源学 	
畜水産系科目		公衆衛生系科目		臨床獣医科目	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 生産農学概論 ○ 水産増養殖学 ○ 遺伝育種学 ○ 家禽疾病学 ○ 動物衛生学 ○ 飼料作物学 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 医動物学 ○ 人獣共通感染症学 ○ 獣医公衆衛生学総論 ○ 食品衛生学 ○ 環境衛生学 ○ 獣医疫学 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 分子疫学 ○ 獣医臨床疫学演習 ○ エキゾチックアニマル学 ○ 抗菌薬バイオロジー ○ 国際展示動物疾病学 ○ トランスレーショナル・ベテリナリーメディスン ○ 免疫関連疾病学 ○ 獣医高度臨床学 ○ チーム獣医療学 	
総合科目				総合科目	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 卒業論文I、II、III (ライフサイエンス分野、公共獣医事分野、医獣連携獣医分野) 				<ul style="list-style-type: none"> ○ 卒業論文I、II、III (ライフサイエンス分野、公共獣医事分野、医獣連携獣医分野) 	

進路コースの選択

総合獣医学演習

獣医師国家試験

- 1年次の早期体験学習(「動物関連キャリア概論」)では、獣医師の多様な職種について学習、対応する獣医関連施設をグループ毎に訪問し、学習内容の発表会を行います。
- 2年次以降も、繰り返し多彩な獣医職域に参加できる体験学習(厚生労働省関連の獣医施設の体験学習を行う「獣医公衆衛生学実習」、農林水産省関連の獣医施設の体験学習を行う「動物衛生学実習」)を設け、年次進捗とともに、自分の成長を確信できるプログラムになっています。
- 2〜3年次に獣医学教育モデル・コア・カリキュラム※1ではカバーしていない畜水産系科目「生産農学概論」「水産増養殖学」等を選択科目として配置します。
- 4年次のおわりに獣医学コアカリキュラムがきちんと習得できているかどうかを評価する共用試験が実施されます。

教養教育科目/外国語教育科目	社会人として必要な一般教養教育科目です。公務員試験に必要な科目も含まれます。
学部共通導入科目	基礎科目 獣医学を学ぶ上で、あらかじめ知っておかねばならない専門科目群です。一部は、獣医保健看護学科と共通で開講されます。
獣医学コアカリキュラム	全ての獣医学学生が学ぶべき科目であり、およそ3分の2の履修時間が当てられます。基礎獣医系科目、応用生物系科目、公衆衛生系科目、畜水産系科目、臨床系科目からなります。
総合科目	4年次から研究室に配属され、ゼミナール、卒業研究が始まります。
アドバンスト科目	3つの科目群(ライフサイエンス、国際獣医事、臨床獣医)の中から、履修ガイドに従って履修します。